



平成25年10月28日

各位

会社名 エレコム株式会社
 代表者名 取締役社長 葉田 順治
 (コード番号 : 6750 東証一部)
 問合せ先 業務統括部長 山本 豊
 電話番号 06-6229-1418

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月8日付「平成25年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

1. 平成26年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A) (平成25年5月8日公表)	31,674	2,886	2,598	1,423	64円64銭
今回修正(B)	30,034	2,910	3,106	1,826	82円94銭
増減額(B-A)	△1,639	24	508	403	—
増減率	△5.2%	0.8%	19.6%	28.3%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	30,189	2,690	2,587	1,374	68円38銭

2. 平成26年3月期 通期連結業績予想の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成25年5月8日公表)	68,000	6,400	5,800	3,260	148円00銭
今回修正(B)	68,000	6,424	6,308	3,663	166円31銭
増減額(B-A)	—	24	508	403	—
増減率	—	0.4%	8.8%	12.4%	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	62,640	6,063	5,507	3,098	152円98銭

3. 修正理由

[第2四半期累計期間]

売上高は、スマートフォン及びタブレット端末関連製品の販売が計画を上回って推移しましたが、パソコン需要の低迷等によりパソコン関連製品の販売が計画を下回り、当第2四半期累計期間の連結売上高は、前回予想を5.2%下回る30,034百万円となる見込みとなりました。一方、利益面におきましては、円安の影響による仕入価格の上昇がありましたが、前年同四半期の売上総利益率の低下要因であったストレージ製品及びネットワーク製品の売上総利益率が計画を上回る回復傾向となった等から、営業利益はほぼ前回予想通りの2,910百万円となる見込みとなりました。また、株式会社イデアインターナショナル

ナルとの資本・業務提携解消にともなう同社発行の転換社債の繰上償還による貸倒引当金戻入額400百万円を営業外収益に計上したこと等から、経常利益は前回予想を19.6%上回る3,106百万円、四半期純利益は前回予想を28.3%上回る1,826百万円となる見込みとなりました。

[通期]

売上高は、スマートフォン及びタブレット端末関連製品の販売は引続き順調に推移する見通しであることに加え、WindowsXPのサポート終了にともなうリプレイス需要が見込まれること等から、計画を据え置きとします。利益面では、ストレージ製品及びネットワーク製品の売上総利益率が引き続き堅調に推移することが見込まれることから、営業利益は前回予想を0.4%上回る6,424百万円、また第2四半期累計期間に計上した貸倒引当金戻入額を考慮し、経常利益は前回予想を8.8%上回る6,308百万円、四半期純利益は前回予想を12.4%上回る3,663百万円に修正いたします。

なお、配当予想につきましては、平成25年10月28日公表の「剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

- (注) 1. 業績予想の修正につきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績等は様々な要因により上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。
2. 平成26年3月期における個別業績予想は公表しておりません。

以上